



昭和小

第16号

校長室便り
文責

生田 文明

一人一人が輝き みんなが輝く 光っ子発表会

十月二十九日(日)台風接近にもかかわらず、たくさんの保護者、地域の方々の参観を得て、光っ子発表会(学習成果発表会)を開催することができました。

約二週間の短い練習期間でしたが、それぞれの学年で学習したことを劇や歌等とおして、発表しました。

一年生は、国語で学習した「大きなかぶ」に動作や歌、またお面も自分たちでつくり、みんな協力することの大切さを伝えてくれました。

二・三年生は、三年国語の教材「三年とうげ」を劇化するにあたり、今学習しているかけ算や跳び箱、マットの学習成果も取り入れ、歌や合奏も入れながら、発表しました。優しい言葉の大切さをみんなに教えてくれました。

四・五年生は、だれもが笑顔で過ごせる昭和地区にするために、地域の高齢者の方々とのふれあいの中で学んだ「相手を思いやる心」の大切さをみんなに伝えることができました。

六年生は、「修学旅行の思い出」と題して戦争の酷さ、平和の大切



さについて、みんなに訴えました。また、たんぽぽ学級では、よい姿勢を保つための体幹のトレーニング法と合奏「エーデルワイス」を披露しました。

さらに全校児童で、全校合奏「コンドルはとんでいく」と群読「お祭り」を行いました。

特に、群読(お祭り)では、祭りの雰囲気を出したために、言葉のリズムや強弱に気をつけながら、発表することができました。

全校児童四十五人。一人一人が輝き、みんなが輝く発表会となりました。



光っ子

ミニスポーツ大会

光っ子発表会の後は、地区対抗の親子ミニスポーツ大会を今年度新規に開催しました。九町内を三つのグループ分け、ニュースポーツ(輪投げ・RDチャレンジ・アジャタ・ドッジビー)に挑戦してもらい、

それぞれの競技の合計得点で、勝敗を争うことにしました。

的に当たりそう、入りそうで入らない、輪投げやRDチャレンジは、子どもたちより大人の方が苦戦していたようです。また、ドッジビーでは、好プレイ・珍プレイが続出。拍手あり、笑いあいの競技となりました。さらに、アジャタ(玉入れ)では、大人三チームとも、制限時間(一分間)で、すべての玉(百個)を入れることができ、子どもたちはびっくりしていました。

Aチーム(日進・共栄・明徴)が総合優勝し、親子で、ニュースポーツをおして、楽しいひとときを過ごすことができました。PTA役員・学級委員の皆様には、事前の計画・準備等、大変お世話になりました。

特別賞に輝く

八代市PTA親善親子スポーツ大会

十一月五日(日)、東陽スポーツセンターで、標記大会が開催されました。本校からは六年生児童とその保護者が参加しました。子どもの部は、一チーム六名のところを本校は四名とし、二チームで出場し、フラバールバレーに挑戦しました。

予選リーグは二試合あり、Aチームは二勝、Bチームは二敗という結果でした。Aチームは、二勝しましたが、得失点差で惜しくも決勝トーナメントには進めませんでした。しかし、小規模校で二チーム出場し、しかも少人数で善戦したとして、特別賞をいただくことができました。

